

# 奈良県

(県内平坦部)

## 土着天敵を活用した露地ナスの 減農薬・安定生産

### 【1. 概要】

- ・露地ナス栽培において、土着天敵を活用し、ミナミキイロアザミウマの防除を実施
- ・県内導入面積は3.2ha。H24年度比450%増。主要産地(五條)の普及率は約60%
- ・各振興事務所単位での講習会、現地検討会を開催(H27年度6回)

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・露地ナス栽培において、ミナミキイロアザミウマによる果実被害が問題。薬剤散布が大きな負担であり、さらに薬剤抵抗性発達により、効果のある薬剤が減少
- ・天敵に影響の小さい殺虫剤の利用と天敵温存植物(フレンチマリーゴールド)の植栽により、土着天敵ヒメハナカメムシ類を保護、活用し、ミナミキイロアザミウマを防除(図1)
- ・導入ほ場のミナミキイロアザミウマの被害及び殺虫剤散布回数は少ない(図2)

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・研究と普及の連携。農林水産省・実用技術開発事業及び委託プロジェクト研究を活用して技術開発を行い、技術開発後、直ちに普及の重点指導課題に設定。
- ・モデル産地(3カ所)を設定し、実証および指導。講習会、現地検討会を開催

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・導入面積3.2ha、農家戸数約40戸に増加(図3)。主要産地(五條市)の普及率は約60%
- ・調査ほ場の7割は栽培期間中のミナミキイロアザミウマ被害果率10%以下に抑制
- ・指導者向けマニュアルを作成し、県HPに公開。他産地への普及を推進  
(参考URL) <http://www.pref.nara.jp/secure/9176/eggplantmanual.pdf>



図1. 取組ほ場と土着天敵  
(ヒメハナカメムシ類: 右上)

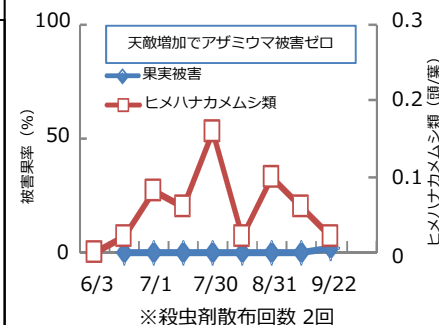


図2. 土着天敵保護の効果

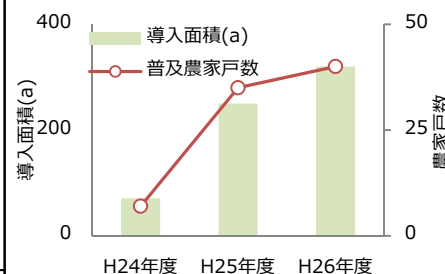


図3. 県内での普及状況

【問い合わせ先】  
農業水産振興課農産物  
ブランド戦略係  
電話：0742-27-7442